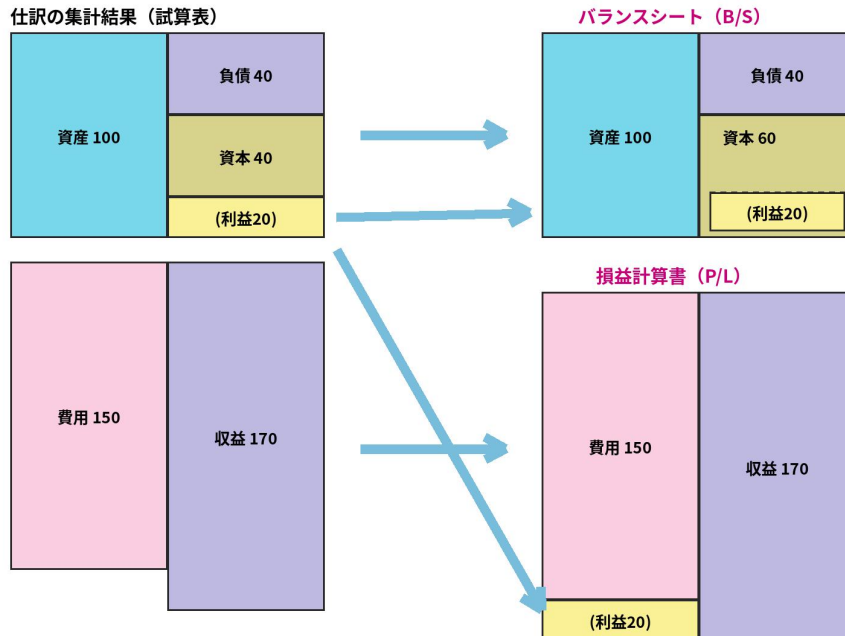


第 4 回の確認テスト（その他の資産・負債）

氏名： _____

問 1 次の勘定科目は「資産・負債・資本・収益・費用」のどれに当たりますか。（ ）に記入しなさい。
【10 問】

思い出しヒント：後で受け取る（返してもらう・戻ってくる）権利＝資産／後で支払う（納める）義務＝負債／『支払
〇〇』『〇〇費』＝費用 ※P.72 の対応表：貸付金⇔借入金、未収入金⇔未払金、立替金⇔預り金、仮払金⇔仮受金



1. 建 物	2. 修繕費	3. 貸付金	4. 支払利息	5. 未収入金
6. 未払金	7. 立替金	8. 預り金	9. 仮払金	10. 差入保証金

問 2 正しいほうに○を付けなさい。【5 問】

1. 建物を購入したときの仲介手数料は、どう処理する？	建物に含める / 支払手数料
2. 壊れた箇所を元に戻す修理代の科目は？	修繕費 / 建物
3. 備品を売って代金を後日受け取る権利の科目は？	売掛金 / 未収入金
4. 給料から天引きした源泉所得税の科目は？	立替金 / 預り金
5. 出張旅費の概算額を渡したときの科目は？	仮払金 / 前払金

問 3 次の取引の仕訳を書きなさい。【10 問】（各問の（ヒント）を手がかりに）

科目：現金／当座預金／建物／備品／貸付金／未収入金／立替金／仮払金／差入保証金／借入金／未払金／預り金／給料／支払利息／修繕費（問 4・8 は 2 行）

借方科目	金額	貸方科目	金額
------	----	------	----

問 1 店舗 200,000 円を購入し、仲介手数料 10,000 円とともに小切手を振り出して支払った。（ヒント：付随費用は原価へ）

--	--	--	--

問 2 コピー機が故障し、修理代 15,000 円を現金で支払った。（ヒント：元に戻す＝費用）

--	--	--	--

問 3 取引先に現金 200,000 円を貸し付けた。（ヒント：返してもらう権利）

--	--	--	--

問 4 借入金 300,000 円を、利息 6,000 円とともに現金で返済した。（ヒント：元本と利息は別科目・借方 2 行）

問 5 備品を帳簿価額どおりの 30,000 円で売却し、代金は月末に受け取る。（ヒント：商品以外）

--	--	--	--

問 6 パソコン（備品）120,000 円を購入し、代金は翌月末に支払うことにした。（ヒント：商品以外）

--	--	--	--

問 7 従業員に給料の前貸しとして現金 20,000 円を渡した。（ヒント：一時的に立て替えた権利）

--	--	--	--

問 8 給料 250,000 円から源泉所得税 10,000 円を差し引き、残額を現金で支払った。（ヒント：額面・預り金・2 行）

問 9 従業員の出張にあたり、旅費の概算額 40,000 円を現金で渡した。（ヒント：内容・金額が未確定）

--	--	--	--

問 10 店舗を賃借し、敷金 300,000 円を現金で支払った。（ヒント：返ってくる＝資産）

--	--	--	--

プラスα 余裕のある人はチャレンジ！【5 問】（ヒントなし。できたら第 4 回は完璧）

α1 建物の増築工事を行い、費用 80,000 円を現金で支払った（改良に該当する）。

--	--	--	--

α2 商品 100,000 円をクレジット払いで販売した。手数料（代金の 3%）は販売時に計上する。

α3 仮払金 40,000 円を精算し、旅費は 36,000 円、残額 4,000 円は現金で返金された。

α4 仮受金としていた当座預金への入金 50,000 円が、売掛金の回収と判明した。

--	--	--	--

α5 従業員から預かっていた源泉所得税 10,000 円を現金で納付した。

--	--	--	--

【問1】

1. 建物 資産	2. 修繕費 費用	3. 貸付金 資産	4. 支払利息 費用	5. 未収入金 資産
6. 未払金 負債	7. 立替金 資産	8. 預り金 負債	9. 仮払金 資産	10. 差入保証金 資産

【問2】

設問	答え	理由
1. 建物を購入したときの仲介手数料は、どう処理する？	建物に含める	付随費用は取得原価に含める
2. 壊れた箇所を元に戻す修理代の科目は？	修繕費	元に戻す＝費用。価値を高める改良なら建物
3. 備品を売って代金を後日受け取る権利の科目は？	未収入金	商品以外の債権は未収入金
4. 給料から天引きした源泉所得税の科目は？	預り金	従業員から預かり、後で納める義務＝負債
5. 出張旅費の概算額を渡したときの科目は？	仮払金	内容・金額が未確定＝仮払金。前払金は商品の内金

【問3】

問	借方	貸方	解説
1	建物 210,000	当座預金 210,000	手数料は建物の値段に溶け込む。
2	修繕費 15,000	現金 15,000	修繕費（費用）の発生は借方。
3	貸付金 200,000	現金 200,000	貸付金（資産）の増加は借方。
4	借入金 300,000 支払利息 6,000	現金 306,000	負債の減少と費用の発生が同時に借方。
5	未収入金 30,000	備品 30,000	売掛金ではなく未収入金。
6	備品 120,000	未払金 120,000	買掛金ではなく未払金。
7	立替金 20,000	現金 20,000	後で返してもらう権利＝資産。
8	給料 250,000	預り金 10,000 現金 240,000	預り金（負債）は後で税務署へ納める義務。
9	仮払金 40,000	現金 40,000	精算で確定した費用に振り替える。
10	差入保証金 300,000	現金 300,000	退去時に返ってくる敷金は資産。

【プラスα】

問	借方	貸方	解説
α1	建物 80,000	現金 80,000	価値を高める改良は資産に上乗せ。修繕なら修繕費。
α2	クレジット売掛金 97,000 支払手数料 3,000	売上 100,000	売上は満額、手数料は費用、手取りがクレジット売掛金。
α3	旅費交通費 36,000 現金 4,000	仮払金 40,000	仮払金を消して確定した費用へ。
α4	仮受金 50,000	売掛金 50,000	仮受金を消して本来の科目へ。
α5	預り金 10,000	現金 10,000	義務（預り金）を消す。

【演習】消費税＋第 5 回の範囲（P.78～92）

消費税の型：仕入・費用・資産の購入 → 本体は税抜、払った消費税は「仮払消費税」（借方・資産）／売上 → 本体は税抜、預かった消費税は「仮受消費税」（貸方・負債）。

第 5 回の型：払込は資本金、利益は損益→繰越利益剰余金、配当は未払配当金、訂正仕訳は正しい仕訳＋誤りの逆仕訳。

科目：現金／普通預金／当座預金／備品／売掛金／仮払消費税／買掛金／仮受消費税／未払配当金／資本金／利益準備金／繰越利益剰余金／損益／売上／受取地代／仕入／通信費／水道光熱費／保険料

問 1 商品 200,000 円（税抜価額）を仕入れ、消費税 20,000 円とともに代金は掛けとした（税抜方式）。

問 2 会社の設立に際し、株式 100 株を 1 株 30,000 円で発行し、全額の払込みを受けて当座預金とした。

問 3 決算において、当期純利益 400,000 円を繰越利益剰余金勘定に振り替えた。

問 4 商品 330,000 円（税込価額、消費税率 10%）を売り上げ、代金は現金で受け取った（税抜方式）。

問 5 駐車場として貸している土地の地代 60,000 円を現金で受け取った。

問 6 株主総会で、繰越利益剰余金を財源とする配当 100,000 円と利益準備金 10,000 円の積立てを決定した。

問 7 電話料金 20,000 円が普通預金から引き落とされた際、誤って水道光熱費で記帳していた。訂正仕訳を行う。

問 8 備品 55,000 円（税込価額、消費税率 10%）を購入し、代金は現金で支払った（税抜方式）。

問 9 建物にかかる火災保険料 120,000 円を普通預金から支払った。

問 10 売掛金 60,000 円が普通預金に振り込まれた際、誤って 6,000 円と記帳していた。訂正仕訳を行う。

----- 解答（仕訳を書いてから確かめる）

- 仕入 200,000 ・仮払消費税 20,000 ／ 買掛金 220,000 （消費税：仕入は税抜、払った税は仮払消費税＝資産）
- 当座預金 3,000,000 ／ 資本金 3,000,000 （第 5 回：払込額は資本金）
- 損益 400,000 ／ 繰越利益剰余金 400,000 （第 5 回：利益は損益→繰越利益剰余金へ。P/L と B/S をつなぐ橋）
- 現金 330,000 ／ 売上 300,000 ・仮受消費税 30,000 （消費税：売上は税抜、預かった税は仮受消費税＝負債）
- 現金 60,000 ／ 受取地代 60,000 （第 5 回：『受取』が付けば収益）
- 繰越利益剰余金 110,000 ／ 未払配当金 100,000 ・利益準備金 10,000 （第 5 回：配当は未払配当金＝負債、準備金は資本の内訳）
- 通信費 20,000 ／ 水道光熱費 20,000 （第 5 回：正しい仕訳＋誤りの逆仕訳を合体＝科目の付け替え）
- 備品 55,000 ・仮払消費税 5,000 ／ 現金 55,000 （消費税：資産の購入でも払った税は仮払消費税）
- 保険料 120,000 ／ 普通預金 120,000 （第 5 回：損害に備える支出は保険料＝費用）
- 普通預金 54,000 ／ 売掛金 54,000 （第 5 回：金額の不足分を同じ科目で追加）